

南丹教育局 NEWS

第87号 平成26年1月23日発行

平成25年度南丹地区学校安全研究協議会を開催しました

1月9日（木）、南丹市日吉町生涯学習センターで平成25年度南丹地区学校安全研究協議会を開催しました。

管内の幼稚園、小・中・府立学校の教職員をはじめ、PTAの方々など、合わせて100名近い参加がありました。



写真① 課題提起（南丹教育局 井戸 仁 指導主事）
写真② 講演（京都地方気象台 野々村 努 次長）
写真③ 実践発表（南丹市立殿田小学校 大嶋 英美 養護教諭）



◆課題提起◆

管内における学校安全について、主に課題点等をお話ししました。

また、管内の事故災害の状況をはじめとして、過去に子どもが加害者となった事故の判例を挙げながら、安全教育の大切さや『学校における学校安全教育の手引』の活用の仕方などを説明しました。



◆講演◆防災気象情報の有効利用について

昨年からは運用が始まった特別警報を含めた防災気象情報の発令基準等を中心に幅広くお話しいただきました。

「まだ大丈夫」などと自分に都合のいいように考えず、常に最悪の事態を想定した行動が取れるよう、日々の気象情報に耳を傾けたいと思います。



◆実践発表◆学校安全と組織活動

日々の学校安全教育に関する取組全般について発表いただきました。

避難訓練では大雨や洪水といった一般的なものだけでなく、日吉ダムが決壊したと想定して行うなど、地域の状況に応じた防災教育が行われており、他校での実践の参考となるものでした。

◆参加者の感想◆

〈講演〉

- ・命を守るための情報収集が大事であることをこの機会に再確認できた。家庭でも徹底したい。
- ・防災気象情報の意味をしっかり捉え、直ちに命を守る行動をとる必要があることを日ごろから考えておきたい。

〈実践発表〉

- ・引渡し訓練についての具体的な方法がとても参考になった。避難訓練の内容がとても充実していると思った。
- ・これからは保護者と学校と一緒に考え、訓練や取組を行うことが必要だと感じた。